

カンボジア Overseas Community Project (OCP)

ホームステイでの共同生活 3/18-28

10日間のホームステイ生活。慣れない環境、逃げ場のない共同生活は、楽しさもありますがストレスも掛かります。みんながお互いを思いやる気持ちを持つことが必須です。それを乗り越えたメンバーたちには忘れられない思い出が残っているはずです。

以下、ホームステイ最後の夜にヲタ芸を日本で練習して披露してくれた「もも」こと井本さんが思い出を綴ってくれました。

スオ スダイ!2Aの井本です。

2週間もカンボジアで過ごすのがありがたいつついオークンになってしまいます。

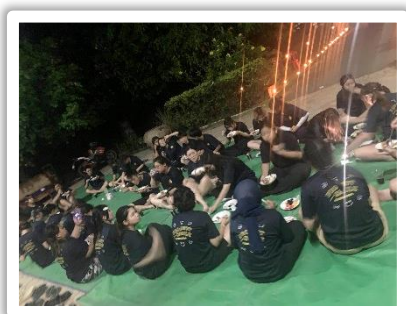
大変だったホームステイでの共同生活もついに終わってしまいます。

ホームステイ最終日の夜はパーティーでした。

活動から帰るとキャンドルの道があり、そこを進むとめっちゃめっちゃ豪華なご飯が並んでいました。グリルで焼いたお肉やえび、さらにたくさんのフルーツがありました。みんなで大盛り上がりしながら食べました。すごくすごく美味しかったです。



ご飯が終わるといよいよ私たちが用意してきたオタ芸の出番です。日本で練習し、さらにカンボジアに来てからもホテルやホームステイ先でたびたび練習していました。初めはぐだぐだすぎてどうなることかと思いましたが、結果は大盛り上がり。練習してきてよかったです。日本チームが先陣を切りそこからさらに大盛り上がり。シンガポールの学生も準備してくれたダンスや歌を披露してくれました。ワンモアソング!ワンモアソング!とたびたびアンコールがありました笑 先生たちも含めみんなテンションがおかしくなっていてすごくすごく楽しかったです。叫びすぎて喉が少し痛いですが、すごく充実した夜になりました。



はじめの頃は文化の違いや感覚、価値観の違いから本当に共同生活がうまくいくのかと不安しかありませんでした。普段と全く違う生活からくるストレスもあり、お互いがあまり交われない期間もあったけれど徐々にお互いの距離も縮まってここまで一緒に楽しむことができました。

長いようで短かった 2 週間。こんなにも濃い 2 週間を過ごしたことはありません。学生 36 人、教員 4 人計 40 人で最高の 2 週間を作ることができました。ここでの経験は一生忘れません。

